

文末資料

スポーツに関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

.....

当アンケートでは「デリケートな内容」について
お伺いする箇所が含まれております。

本件趣旨にご同意くださる方は、ご回答をお願いいたします。

回答をしたくないと判断された場合はお手数ですが、
「回答をやめる」ボタン、あるいはブラウザを閉じて、アンケートを終了してください。

なお、当アンケートにより取得した回答結果につきましては、
特定の個人が識別できないよう、
市場の実態把握のために活用させていただきます。

.....



「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。決して第三者に口外しないよう、ご協力をお願いします。



アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

Q1

100%

あなたが現在お住いの市町村をお答えください。

☉ 単一回答 ★ 必須回答

以下を選択 ▼

..... ✂ ここを改ページ

Q2

あなたは「パラスポーツ」と聞いて何を思い浮かべますか。
お考えを自由にご記入ください。

★ 必須回答

▲ とじる

0/500文字



Q3

あなたは以下の言葉を知っていますか。（それぞれひとつ）

◎ 単一回答 ★ 必須回答

0/5

1	パラスポーツ	▼
2	共生社会	▼
3	ダイバーシティ・多様性	▼
4	インクルーシブ・インクルージョン	▼
5	障がいの個人（医学）モデル・社会モデル	▲

① 知っている

② 言葉だけは聞いたことがある

③ 知らない



C1

本調査における「パラスポーツ」とは、
障がいの有無や年齢、性別を問わず、
誰もが一緒に楽しむことができるスポーツのことを指します。
車いすバスケットボールやボッチャなどのパラリンピック競技のみならず、
誰もが一緒に楽しむことができるようにルールや用具に工夫を加えた、
レクリエーション要素の高いスポーツ活動なども含みます。
また、共生社会や多様性の概念には、
性別や年齢、人種、宗教、性的指向、性自認、障がいの有無など
様々な側面が含まれますが、

本調査では障がいに関心する方に焦点を当ててお聞きします。
あらかじめご了承ください。



Q4

長野県は、障がいの有無や年齢、性別等を問わず、誰もが一緒に楽しむことができる
パラスポーツをツールとして、共生社会を創造するプロジェクト「パラウェーブ
NAGANOプロジェクト」をスタートしました。

○ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/5

1	あなたは「パラウェーブNAGANOプロジェクト」を知っていますか。	▼
2	あなたは次の「パラウェーブNAGANOプロジェクト」のロゴを見たことがありますか。	▼
3	あなたは「パラウェーブNAGANOプロジェクト」のイベントに参加したことがありますか。	▼
4	あなたは「パラウェーブNAGANOプロジェクト」のイベントに今後（も）参加したいと思いますか。	▼
5	あなたは2027年に長野県において「全国障害者スポーツ大会」が開催される予定であることを知っていますか。	▲

① はい

② いいえ



Q5

あなたは以下のパラスポーツに関連する経験をしたことがありますか。
ある場合は回数をお答えください。（それぞれひとつ）

○ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/6

1	パラスポーツに関する番組（ニュース、情報番組、バラエティー番組など）の視聴	▼
2	テレビやインターネットでのパラスポーツ観戦	▼
3	大会会場でのパラスポーツ観戦	▼
4	パラスポーツ体験	▼
5	パラスポーツに関わるボランティア活動	▼

1	自分自身に障がいがある	▼
2	家族に障がいのある人がいる	▼
3	友人・知人に障がいのある人がいる	▼
4	近所で障がいのある人を見かけることがある	▼
5	学校に障がいのある人がいる（いた）	▼
6	仕事で障がいのある人と関わることもある	▼
7	日常的に障がいのある人とパラスポーツに取り組んでいる	▼
8	障がいのある人に関わるボランティアをしたことがある	▼
9	手話体験やアイマスク体験など障がいを知るための体験をしたことがある	▼
10	これまで、障がいのある人と関わったことはない	▲

①

はい

②

いいえ



Q8
あなたは、障がいのある人の困りごとを解決するためにはどのようなことが必要だと思いますか。
以下の項目から重要だと思うものを必ず3つ選択してください。

✔ 複数回答 (3個選択) ★ 必須回答 ▲ とじる

1	医学的治療やリハビリテーションによる身体的機能の回復
2	地域の身近な人による手助けや声かけ
3	車いすや義手、義足、補聴器、白杖などの障がいのある人が使用する用具の開発
4	スロープや点字ブロック、音声ガイドなどのバリアフリーの充実
5	障がいのある人自身の、障がいを乗り越えるための強い意志と努力
6	障がい者割引などの障がいのある人を優遇する制度
7	その他 (必須入力)



Q9

あなたは障がいのある人が困っているとき（目の不自由な人が道に迷っているとき、車いすに乗っている人が段差の前にいるときなど）に、手助けしたいと思いますか。また、実際にどのような経験がありますか。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/6

1	手助けしたいと思う	▼
2	手助けしようと思い、声をかけた経験がある	▼
3	手助けしたいと思ったが、支援方法（目の不自由な人の案内の仕方や、車いすの押し方など）が分からず不安だったため、声をかけなかった経験がある	▼
4	手助けしたいと思ったが、急いでいたため、声をかけなかった経験がある	▼
5	手助けしようとは思わなかった	▼
6	障がいがある理由で困っている人を見かけたことはない	▲

☐ ① はい

☐ ② いいえ



Q10

現在あなたを取り巻いている社会のイメージとしては、以下のどの図が当てはまりますか。

また、あなたが思い描く理想の社会のイメージとしては、以下のどの図が当てはまりますか。（それぞれひとつ）

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼

画像は『日本財団パラリンピックサポートセンターパラリンピック研究会紀要14号』のP.80をご参照ください。 <http://para.tokyo/14-NAKAMURAMasahiro.pdf>

◎ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/2

1	現在	▼
2	理想	▲

☐ ①

☐ ②

☐ ③

☐ ④



☐ 当てはまるものがない



☐ わからない

アンケートは以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

送 信